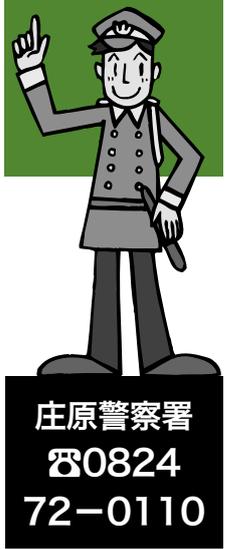


安心 & 安全な 毎日のために



庄原警察署
☎0824
72-0110

新たな手口 融資保証金詐欺

全国的に発生し、多大な被害が発生している「振り込み詐欺」。さまざまな手口が次々に出てきていますが、庄原市内では7月までに3件、「融資保証金詐欺」による被害が発生しています。

これは、電話やはがき・メールなどで融資を呼びかけ、申し込みに対して現金を貸し付ける約束をし、その前提として保証金(担保金)数万円を指定の口座に振り込ませて騙し取る詐欺です。

中には、電話で「借り入れが多数で正規の融資ができないが、保証協会費を納めてデータを抹消すれば融資を受けられる」と、言葉巧みに保証金を騙し取ろうとするケースも見られます。

被害に 遭わないために

- 先ほどのように、保証協会費を納入することで借入金のデータが抹消されるということはありません。すべての「振り込み詐欺」に共通していますが、
- 事前に現金を振り込ませようとするやり方は要注意
 - 一人で考えて振り込まない
 - うまい話に乗らない
- といった点を十分心がけ、被害に遭わないようにしましょう。

★7月末現在の犯罪認知件数(各年7月末現在 単位/件)

下表のとおり、犯罪認知件数は年々減少しています。が、家や事務所に入らして金品を盗む侵入盗は、依然として多く発生しています。市内では、8月中旬に連続4件の出店・事務所荒らし

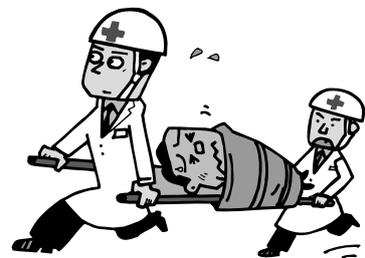
が発生していますので、施錠やセンサーライト設置など、防犯対策をもう一度確認しましょう。



★身近な犯罪の発生状況

犯罪類型	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
侵入窃盗	36	24	42	38
非侵入窃盗	126	113	77	45
乗物盗	25	39	16	21
その他	37	37	46	40
合計	224	213	181	144

救命措置の スペシャリスト 救急救命士



保の方法である「気管挿管」が認められました。

この方法は、嘔吐物などの異物による窒息に対して有効で、医師の具体的な指示のもとに救急車内で行われます。

ただし、この気管挿管を現場で実施するためには、

救急救命士は、医師の指示のもと、病院へ搬送中の傷病者に対して、気道確保や心拍の回復のための救命措置を行います。

広島県には、現在528人、備北地区消防広域行政組合には32人の救急救命士が日夜活動しています。

救命率の向上を目指して

更なる救命率の向上に向けて、救急救命士による救命措置を高度化する取り組みが全国で進められています。

平成16年7月には、それまで認められていなかった、気管内チューブを用いた気道確保

高度な技術が必要なため、救急救命士が病院で、全身麻酔を受けた患者を対象とした実習を受けることが義務付けられています。

備北地区消防広域行政組合では、市立三次中央病院の協力のもと、5月からこの実習を行っています。実習の際には、事前に患者さんの同意をいただきますので、救急業務の1層の充実のため、皆さんのご理解とご協力のほどをよろしくお願いします。

■問い合わせ

備北地区消防広域行政組合
消防本部
☎0824-6311191